

2006年5月25日

2005年度決算・2006年度業績予想について



星光PMC株式会社
コード番号 4963



目次

1. 事業概要について
2. 当社の経営戦略
3. 当期の事業環境について
4. 当期の連結業績
5. 財務諸表
6. 06年度業績予想
7. 中国での事業展開について

< 予想に関する注意事項 >

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。

1 . 事業概要

星光PMC



サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品



■ 紙
新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他



■ 板紙
段ボール原紙
紙器用紙他

星光ポリマー



各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂

■ 平版インキ
グラビアインキ
新聞インキ
フレキソインキ
トナー





2. 当社の経営戦略

(1) 豊富な研究開発投資をベースとした成長シナリオ

製紙用薬品事業: 製紙業界の質的な変化に対応した新規薬品システムの提供

- a. 板紙の抄紙pHを酸性からアルカリに転換する薬品システム
- b. 新聞用紙の高品質化を促進する薬品システム
- c. 「嵩高紙、高級ティッシュ」等成長市場に対応した製品開発
- d. 中国市場への進出による地域的拡大

印刷インキ・記録材料用樹脂事業: ユーザー密着の研究開発によって培った独自技術を発展させることによる新規製品の上市

- a. オフセット印刷インキ用樹脂、フレキソ・グラビア印刷向け水性インキ用樹脂の拡販
- b. 複写機・プリンターの世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発

(2) 短期的経営課題は、引き続き高騰を続ける原料価格の製品への転嫁

3 . 当期の事業環境について

紙・板紙生産数量(国内)

単位:千トン

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	前年度比
紙	18,240	18,557	18,501	18,829	18,977	100.8%
板紙	12,111	12,212	12,103	12,045	12,088	100.4%
合計	30,351	30,769	30,604	30,874	31,065	100.6%

日本製紙連合会 統計資料

各種印刷インキ生産数量(国内)

単位:千トン

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	前年度比
平版インキ	143	145	155	163	165	101.2%
ゴム凸版インキ	26	26	25	26	25	96.2%
グラビアインキ	135	133	131	135	133	98.5%
新聞インキ	54	55	55	56	58	103.6%
その他	82	74	73	68	66	97.1%
合計	440	433	439	448	446	99.6%

化学工業統計月報

紙・板紙、印刷インキとも生産数量はほぼ前期並み、両業界とも国内は成熟市場

4 . 当期の連結業績

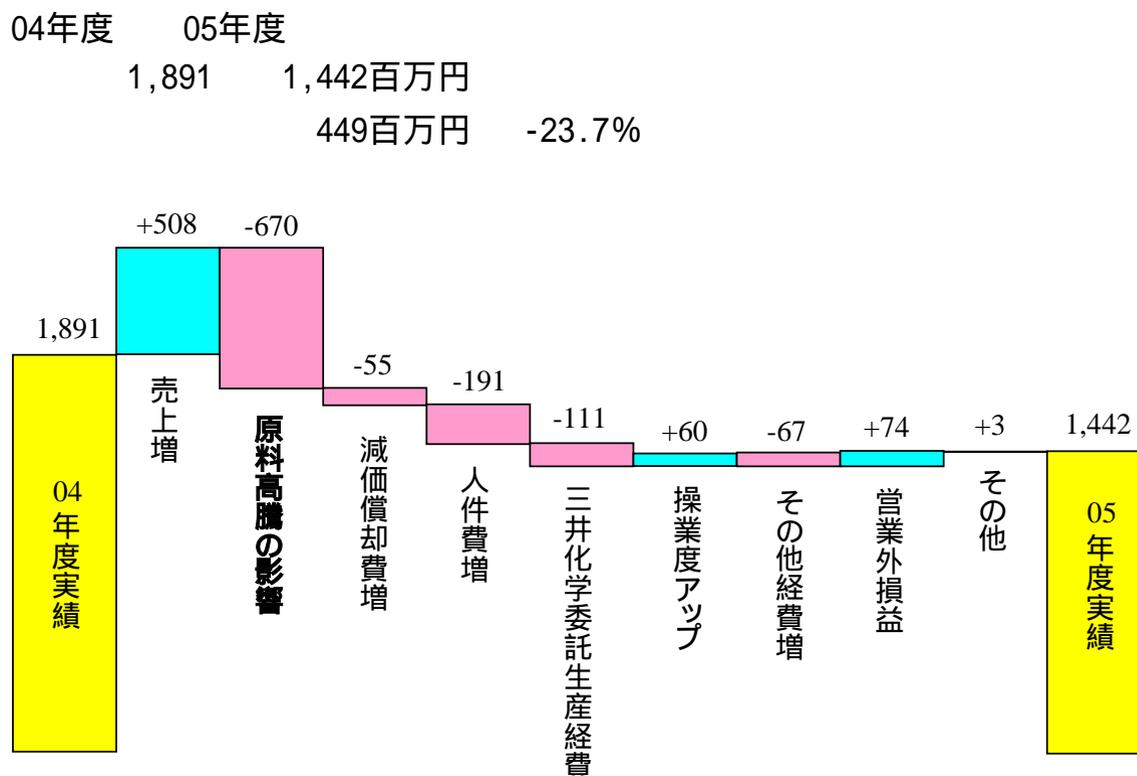
4 - 1 . 連結損益推移

単位:百万円

	03年度	04年度	05年度				
	実績	実績	実績	前年比	予想値	実績 - 予想	
売上高	21,766	21,685	23,458	8.2%	1,773	23,669	-211
営業利益	1,783	1,876	1,352	-27.9%	-524	1,626	-274
経常利益	1,754	1,891	1,442	-23.7%	-449	1,701	-259
対売上高比	8.1%	8.7%	6.1%			7.2%	
当期純利益	296	1,014	1,093	7.8%	79	1,102	-9

1. 売上高: 製紙用薬品は前期比大幅に増加、印刷インキ・記録材料用樹脂は数量ベースでは微減
(6頁「セグメント別概況」)
2. 営業利益: 原材料費のアップを売価に転嫁できず減益に(5頁「連結経常利益の増減要因」)
3. 当期純利益: 特別利益として投資有価証券及び固定資産の売却益が発生(11頁「損益計算書」)

4 - 2 . 連結経常利益の増減要因



1. 原料アップ分の製品価格への転嫁を進めたが、さらなる原料高騰で670百万円が利益減少要因に
2. 減価償却費は三井化学からの営業譲渡の“のれん代”償却分(60百万円)が増加要因
3. 操業度アップは下期製造設備改造工事期間に対応する在庫生産分

4 - 3 . セグメント別概況 (連結)

単位: 百万円

	03年度	04年度	05年度			
	実績	実績	実績	前年比	予想値	実績-予想
売上数量(トン)						
製紙用薬品	160,405	156,368	168,989	8.1% 12,621	169,830	-841
印刷インキ・記録材料用樹脂	25,390	23,260	22,910	-1.5% -350	22,970	-60
合計	185,795	179,628	191,899	6.8% 12,271	192,800	-901
売上高						
製紙用薬品	14,863	15,197	16,934	11.4% 1,737	17,118	-184
(内中国向け輸出)	(18)	(102)	(268)			
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,903	6,488	6,524	0.6% 36	6,551	-27
合計	21,766	21,685	23,458	8.2% 1,773	23,669	-211
営業利益						
製紙用薬品	1,023	1,352	1,026	-24.1% -326	1,254	-228
印刷インキ・記録材料用樹脂	760	524	326	-37.8% -198	372	-46
合計	1,783	1,876	1,352	-27.9% -524	1,626	-274

売上高増減要因

製紙用薬品:

1. 三井化学からの営業権の譲り受けを中心とした乾燥紙力剤の販売増 = + 1,384百万円
2. 高品質新聞用紙向け等の表面サイズ剤の拡販 = + 270百万円
3. 新規開発商品(嵩高紙、高級ティッシュ向け薬品)の拡販 = + 83百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂:

複写機・プリンターの世代交代に伴って記録材料用樹脂が販売減

5 . 財務諸表

5 - 1 . 貸借対照表 (連結)

単位:百万円

	前期末	当期末	増減		前期末	当期末	増減
流動資産	14,632	14,174	-458	流動負債	7,335	7,755	420
現金及び預金	630	1,234	604	仕入債務	4,327	4,789	462
売上債権	8,283	8,313	30	社債・借入金	1,398	525	-873
棚卸資産	2,343	2,953	610	未払金	612	816	204
運用資産	2,812	600	-2,212	その他	998	1,625	627
その他	564	1,074	1,110	固定負債	2,379	1,657	-722
固定資産	12,577	13,675	1,098	借入金	993	467	-526
有形固定資産	10,626	11,532	906	退職給付引当金他	1,386	1,190	-196
無形固定資産	34	275	241	負債合計	9,714	9,412	-302
投資有価証券	1,081	1,309	228	資本金	2,000	2,000	0
関係会社等出資金	0	0	0	資本剰余金	1,566	1,566	0
投資その他の資産	836	559	-277	利益剰余金	13,669	14,380	711
				有価証券評価差額金	260	491	231
				資本合計	17,495	18,437	942
資産合計	27,209	27,849	640	負債・資本合計	27,209	27,849	640
				株主資本比率	64.3%	66.2%	1.9%

1. 有利子負債の返済を進めたことにより、残高は前期末比1,399百万円減少して992百万円に
2. 運用資産は、有利子負債の返済、中国プロジェクトへの投資により、2,212百万円減少
3. 株主資本比率は、66.2%と前期末比1.9%アップ

5 - 2 . 損益計算書 (連結)

単位:百万円

	04年度	構成比	05年度	構成比	増減
売上高	21,685	100.0%	23,458	100.0%	1,773
売上原価	15,555	71.7%	17,547	74.8%	1,992
売上総利益	6,130	28.3%	5,911	25.2%	-219
販売費・管理費	4,254	19.6%	4,559	19.4%	305
営業利益	1,876	8.7%	1,352	5.8%	-524
営業外損益	15	0.0%	90	0.4%	75
経常利益	1,891	8.7%	1,442	6.2%	-449
特別損益*	-231	-1.0%	359	1.5%	-590
税引前利益	1,660	7.7%	1,801	7.7%	141
法人税等	646	3.0%	708	3.0%	62
当期純利益	1,014	4.7%	1,093	4.7%	79

05年度特別損益の内訳

固定資産売却益 + 145百万円

投資有価証券売却益 + 273百万円

主な経費項目 (製造原価と販売費及び一般管理費との合計額)

単位:百万円

	04年度	05年度	差額
人件費合計額	4,324	4,515	191
減価償却費合計額	1,048	1,103	55
設備投資額	1,439	1,451	12
研究開発費	1,580	1,598	18
対売上高比率	7.3%	6.8%	

6 . 0 6 年度業績予想

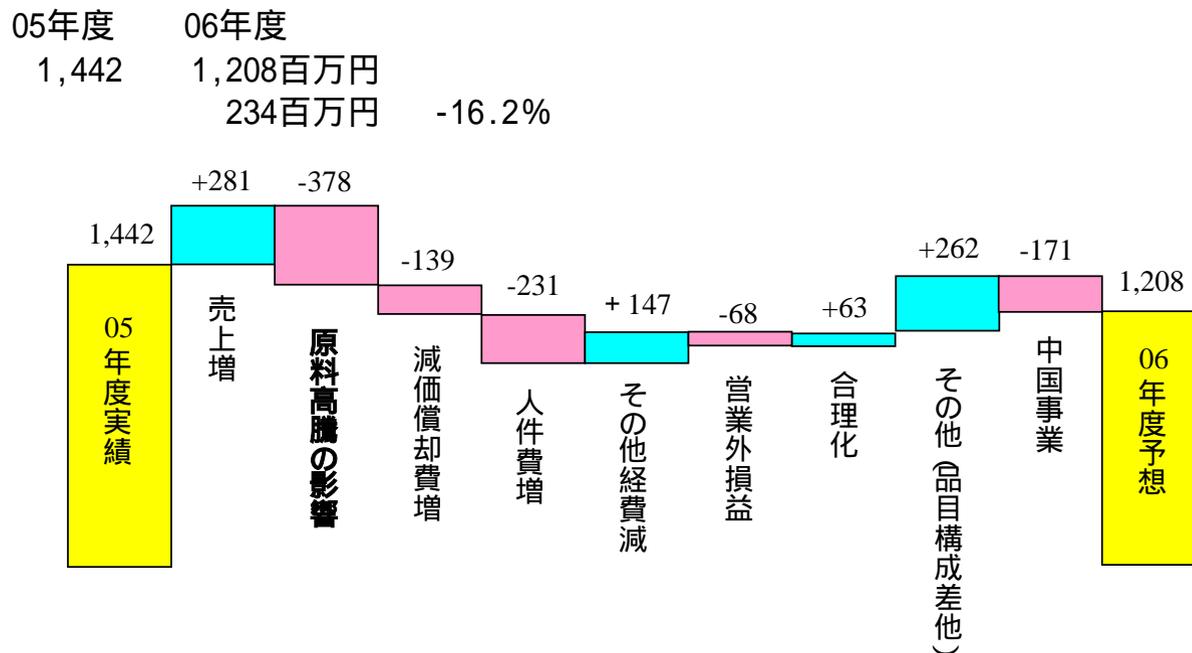
6 - 1 . 業績予想 (連結)

単位:百万円

	04年度	05年度	06年度	
	実績	実績	予想	前年比
売上高	21,685	23,458	25,426	8.4% 1,968
営業利益	1,876	1,352	1,186	-12.3% -166
経常利益	1,891	1,442	1,208	-16.2% -234
対売上高比	8.7%	6.1%	4.8%	
当期純利益	1,014	1,093	690	-36.9% -403
ROE	5.9%	6.1%	3.7%	-2.4%
減価償却費	1,048	1,103	1,336	233
EBITDA (営業利益 + 償却費)	2,924	2,455	2,522	67
設備投資額 (内中国分)	1,439	1,451	2,830 (1,426)	1,379
一株当たり配当(円)	10.0	10.0	10.0	0.0

原料高騰をいかに製品価格に転嫁するかが焦眉の課題
原料アップ額は年間で前年度比1,286百万円を見込む

6 - 2 . 連結予想経常利益の増減要因



1. 引き続き原料価格アップの高騰の影響を、前年度比378百万円見込む
2. 減価償却費増139百万円は、中国プロジェクトを除いた国内分(含む中国事業では233百万円の増)
3. 中国事業は、生産開始初年度171百万円の赤字

6 - 3 . セグメント別業績予想 (連結)

単位：百万円

	04年度	05年度	06年度	
	実績	実績	予想	前年比
売上数量(トン)				
製紙用薬品	156,368	168,989	173,239	2.5% 4,250
印刷インキ・記録材料用樹脂	23,260	22,910	23,509	2.6% 599
合計	179,628	191,899	196,748	2.5% 4,849
売上高				
製紙用薬品	15,197	16,934	18,637	10.1% 1,703
(内中国販売分)	(102)	(268)	(546)	(278)
印刷インキ・記録材料用樹脂	6,488	6,524	6,789	4.1% 265
合計	21,685	23,458	25,426	8.4% 1,968
営業利益				
製紙用薬品	1,352	1,026	1,090	6.2% 64
(内中国事業)			(-171)	
印刷インキ・記録材料用樹脂	524	326	96	-70.6% -230
合計	1,876	1,352	1,186	-12.3% -166

売上高増減要因

製紙用薬品：

1. 板紙アルカリ抄紙化による販売増 = 300百万円
2. 新規開発商品(嵩高紙、高級ティッシュ向け薬品)の拡販 = 200百万円

印刷インキ・記録材料用樹脂：

オフセット印刷インキ用樹脂の拡販 = 180百万円

7. 中国での事業展開について

中国の紙生産数量は、2005年で54百万トン(前年比26%増)と日本の31百万トンを大きく上回り、世界第2位であり(第1位は米国の83百万トン)、今後も高率の成長が予測される。

また、品質水準も年々向上し、製紙用薬品へのニーズも高まっており、王子製紙始め日本の大手製紙会社も中国への進出を発表している。

当社の中国事業

1. 現地生産会社:

星光精細化工(張家港)有限公司

- ・2005年5月建設開始
- ・2006年5月生産開始

(1) 資本金: 1,450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 江蘇省張家港市
(張家港保税區江蘇揚子江國際化学工業園内)

面積: 約4万m²

(3) 生産品目: 製紙用紙力増強剤、製紙用サイズ剤 他
生産能力: 約3万トン/年

2: 現地販売会社:

星悦精細化工貿易(上海)有限公司

- ・2006年3月設立

(1) 資本金: 450万USD(当社100%出資)

(2) 場所: 上海市

(3) 販売目標: 年商16億円(2008年)



中期経営計画「Active'08」 (アクティブダッシュ08)

2006年4月～2009年3月

経営理念:「私たちは、住みよい社会、豊かな未来の創造に貢献します。」

- 経営指針:**
- (1) 法を遵守し、フェアな事業活動を行います。
 - (2) 良き企業市民として、環境、安全、省資源に心を配り、社会に貢献します。
 - (3) 新しい価値を創造し、市場やお客様のニーズに応えます。
 - (4) 株主や社会に対し、積極的な情報開示を行います。
 - (5) 明るく自由で活力ある企業風土を創ります。

前回中期計画(2003年4月～2006年3月)の総括

収支対比表

(単位:百万円)

	2005年度 中期計画	2005年度 実績	差額	達成率
売上高				
製紙用薬品	17,591	16,934	-657	96.3%
印刷インキ・記録材料用樹脂	7,007	6,524	-483	93.1%
合計	24,598	23,458	-1,140	95.4%
営業利益				
製紙用薬品	1,826	1,026	-800	56.2%
印刷インキ・記録材料用樹脂	709	326	-383	46.0%
合計	2,535	1,352	-1,183	53.3%

考察

1. 売上未達による利益減は、コスト削減・低採算品からの撤退による利益率アップ等でほぼ賄った。
2. 原料高騰の影響で990百万円のコストアップ(製品価格への未転嫁分)が発生、収益の足を大きく引っ張った。
3. 売上・利益とも、印刷インキ・記録材料用樹脂部門の達成率が低い

求められるアクション

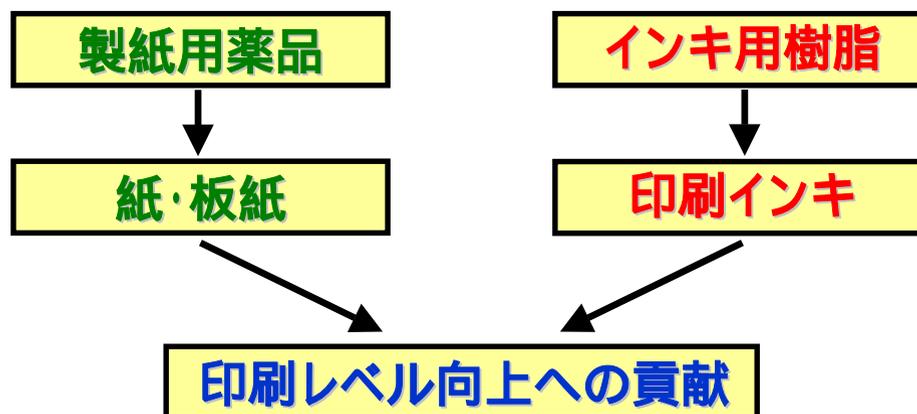
1. 拡販目標の見直しによる、あらたな会社成長戦略の立案
2. 原料アップ分の製品価格への転嫁率の向上
3. 製紙用薬品・印刷インキ・記録材料用樹脂事業に次ぐ第3の事業の育成
4. 印刷インキ・記録材料用樹脂部門の収益力のアップ
5. 継続的なコストダウン策の実施

中期経営計画の基本戦略

- (1) 国内成熟市場のニーズの質的变化に対応した新規薬品システム・新製品の上市
- (2) 継続的な研究開発投資に裏付けられた環境対応、省資源の差別化商品の開発
- (3) 成長市場である中国への進出による量的拡大
- (4) 製紙用薬品事業、印刷インキ・記録材料用樹脂事業に次ぐ、第3の柱となる事業の立ち上げ
- (5) グループの一体経営によるシナジー効果の追求

グループの一体経営によるシナジー効果

- ・本年10月1日付をもって樹脂部門子会社(星光ポリマー)を吸収合併
- ・技術的シナジー



「よりよい印刷」を目指し製紙用薬品とインキ用樹脂の両面から印刷レベル向上に貢献

- ・補管部門の効率的な組織運営による内部統制システムの整備

事業戦略

(1) 製紙用薬品事業

製紙業界の経営戦略 = 高品質化、生産性の向上に寄与する薬品システムの提供

- ・板紙の抄紙pHを酸性からアルカリに転換し、リサイクル古紙の安定的な使用に貢献する薬品システム
 - ・板紙の生産性を飛躍的に向上させ、排水削減等環境問題の解決に貢献する薬品システム
- ・新聞紙の高品質化を推進する薬品システム
 - ・新聞紙の白色度および不透明度アップの要求に応える薬品システム
(新聞印刷のカラー化、高速化への対応)
- ・嵩高紙、高級ティッシュ等差別化製品の品質確立に寄与する新規製紙用薬品
 - ・嵩高書籍用紙、高級ティッシュ・トイレットロール等の差別化製品の高性能化に貢献する薬品
 - ・環境対応型湿潤紙力増強剤の上市
- ・本年6月から本格稼動する張家港工場を拠点とした中国市場でのシェア獲得
 - ・本年5月から予定通りテスト生産を開始、中国製紙産業の品質要求に応える製紙用薬品を投入し、シェア獲得を図る。

(2) インキ用・記録材料用樹脂事業

- ・環境対応型のフレキソ・グラビア印刷インキ用樹脂の拡販
・環境対応を促進する高性能水性樹脂を開発
- ・複写機・プリンターの世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発
・重合系カラートナー化への対応、インクジェット顔料用樹脂の開発

(3) 新規事業

当社グループのコア技術である乳化・分散技術、重合技術を応用した第3の事業の立ち上げ

- ・フィルム用帯電防止剤、自動車塗装用プライマーへの展開

(4) トータルコストダウンの継続

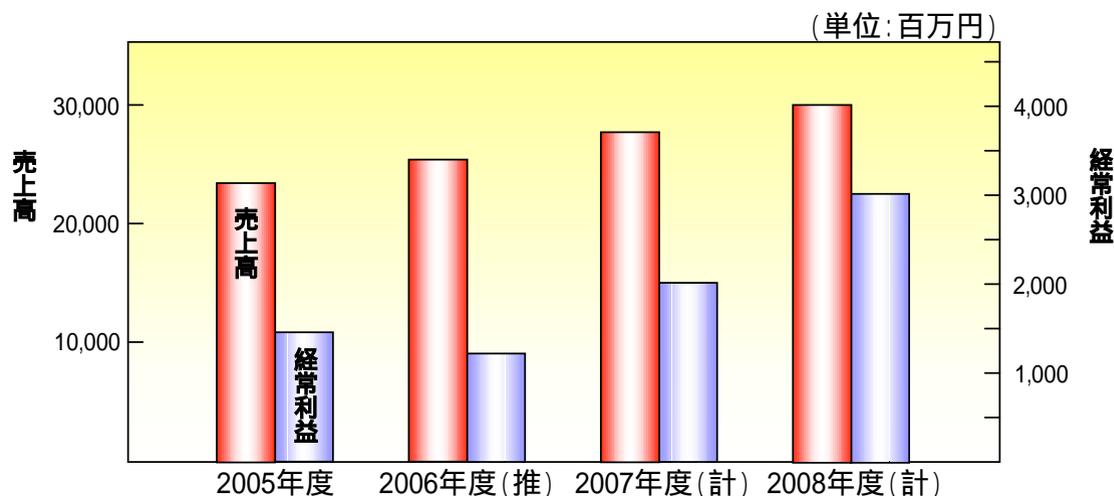
- ・2008年度に2005年度比で220百万円の合理化を実施

中期計画の数値概要

1. 連結

(単位:百万円)

	2005年度 実績	2006年度 推定	2007年度 計画	2008年度 計画	08-05	08 / 05 年平均
売上高	23,458	25,426	27,800	30,000	6,542	8.6%
営業利益	1,352	1,186	2,000	3,000	1,648	30.5%
経常利益	1,442	1,208	2,000	3,000	1,558	27.7%
経常利益率	6.1%	4.8%	7.2%	10.0%	3.9%	
税引後利益	1,093	690	1,200	1,800	707	-
設備投資額	1,451	2,830	1,600	890	-561	-
減価償却費	1,103	1,336	1,440	1,350	247	-
有利子負債残高	993	846	600	0	-993	-



2. セグメント別

(単位:百万円)

	2005年度 実績	2006年度 推定	2007年度 計画	2008年度 計画	08-05	08 / 05 年平均
売上高						
製紙用薬品	16,934	18,637	20,500	22,100	5,166	9.3%
(内中国)	(268)	(546)	(1,170)	(1,600)	-	-
樹脂	6,524	6,789	7,300	7,900	1,376	6.6%
合計	23,458	25,426	27,800	30,000	6,542	-
営業利益						
製紙用薬品	1,026	1,090	1,700	2,450	1,424	33.7%
(内中国)		(-171)	(-80)	(70)	-	-
樹脂	326	96	300	550	224	19.1%
合計	1,352	1,186	2,000	3,000	1,648	-

